



川中だより

令和5年12月6日(水)発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第8号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

校長 清水 謙一

去る11月10日に新発田市の小中学校で一斉に弾道ミサイル対応避難訓練を実施しました。市役所や市民、学校で一斉にこの種の避難訓練を実施するのは、県内で初めて。市内の一部小学校にはメディアも集まり、多くの県内ニュースで報道されていました。

川東中学校では、一斉配信メールをもとに、教室等で机の下に潜り、安全が確認できるまで避難行動を継続する・・・といった訓練を実施しました。机の下に潜っていた時間は、学校内や屋上、校舎周辺の安全を確認するのに時間を要したため長い時間がかかりましたが、生徒達はみんな真剣に訓練に臨んでいました。避難行動が終了した後、全校生徒に体育館に集ってもらい、安全担当の先生が避難訓練について総括しました。

その後、校長として全校生徒に話す場面があったため、避難訓練の話だけで終わるにはもったいなかったもので、校長として以下の話をしました。

① 避難訓練を何のために行うのか？

⇒ 自分と家族、仲間の命を守るために行う大切な学習の一つ。

② 滅多に起こらない災害のために、避難訓練をする必要はあるのか？

⇒ 地震、火災等の県内の災害の数や弾道ミサイルの全国の発射数などをもとに、どこにでも起こりうるもので、油断してはいけない。そのために避難訓練は必要。

③ 現在も世界中で戦争や紛争が続き、苦しい生活を余儀なくされている人々がいる。世界で唯一の被爆国である日本、だから日本人としてこういった弾道ミサイル等について、決して他人事と思っははいけない。

④ 最後に、今年の夏休みに学校を代表して、広島市の平和記念式典に参加してきた生徒会長の佐藤新さんから報告をしてもらいました。佐藤さんの報告(概要)は以下のとおりです。

- ・ 私が平和記念式典に参加して、まず思ったことは多くの人が平和を願っている…ということ。
- ・ 「なぜ自分だけ生き残ってしまったのか自分を責めた」と実際に被爆した方の話を聞いてびっくりした。本来なら生き残って嬉しいはずなのに…実際に被爆した方々の思いはもっと複雑で、私たちの想像をはるかに超えていた。
- ・ 原爆資料館にも行き、原爆が投下された時の様子を描いた絵や写真などが展示されていて想像していたものの何倍も衝撃的で、中には吐き気がしそうなものもあった。
- ・ 今日の避難訓練は、2度とあんなにひどい戦争が起きないように一人一人が考えることが大切であり、万が一起きた場合に被害を最小限にとどめるための訓練です。これからも、こういった訓練を真剣にやっていきましょう。

佐藤さんの経験をもとにした、リアリティのある話を全校生徒が真剣に聞いていて、避難訓練という学習の素晴らしい締めくくりとなりました。